

(参考資料)

大学と高等専門学校との連携に関する主な取り組み

連携推進の取組については、中期計画・年度計画に沿って、(1)適正な学生交流機会の創出(2)双方の強みを生かした教育・学習機会の充実、(3)学生生活・教育環境の向上、(4)教職員の交流促進の4つの分野において、同一法人化によるメリットを発揮できる連携事業を推進する。

(1) 適正な学生交流機会の創出

両教育機関がそれぞれで取り組んでいる学習事業やイベントについて、希望する双方の学生が参加できる仕組みを整備する。両教育機関の活発な学生間交流を実現し、学生の多様性獲得に資する機会を創出する。学生提案等により集めた学生の声を積極的に生かし、学生ニーズに沿った交流・協働の仕組みを構築する。

①取組状況

No	項目
1	外大の広報サポーターによる大学見学ツアーの実施 (6/21) →大学の広報業務をサポートしてくれる学生団体である広報サポーターが、神戸高専生(学生会メンバー)の大学見学ツアーを実施した。外大生2名、高専生4名が参加し、両校の特色や今後の交流等について、学生相互で意見交換を行った。
2	外大生と高専生の交流機会の創出 (7/5) →外大生と高専生が気軽に話ができる場として、カフェのような場を設け、両学生が互いを知るための交流機会を創出した。外大生10名、高専生4名が参加。

②取組予定

年度	項目
2023	①部活の共同実施、②SDGs等社会貢献活動の共同実施、③ボランティアの共同実施、④ロボコン見学ツアー、⑤高専見学ツアーの5項目について検討していく。
2024	上記2023年度取組検討項目に加え、2023年度に実施するアンケートにて、学生ニーズを把握した項目に取り組んでいく。

(2) 双方の強みを生かした教育・学習機会の充実

情報教育や国際理解・コミュニケーション能力向上のノウハウを相互に提供・活用できる仕組みを構築する。各取組を推進する組織体制の充実と受験生・在学生への情報発信の強化に取り組む。学生が文系・理系双方の知識や発想力を横断的に学習できる機会の創出に取り組む。

①取組状況

No	項目
1	同一法人化記念講演の開催 (6/28) →外大・高専の双方の学生を対象に、国際感覚と情報リテラシーを高める文理横断の取組として特別講演会を開催した。(参加申込数：外大生90名、高専生117名)
2	高専生の3、4年生を対象に外大が実施しているTOEICセミナーのオンデマンド配信 (7/1) →外大で実施しているTOEICセミナーを高専生がオンデマンドで視聴できる機会を提供した。(参加申込数：82名)

3	高専生の JUEMUN ツアーの参加 (7/7) →大学生を対象とした英語による模擬国連大会 (JUEMUN) の様子を見学することができる高校生向けのツアーへの参加機会を提供した。高専生 4 名、引率教員 1 名の計 5 名が参加。
4	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度に関する情報共有 (5月) →外大におけるリテラシーレベルの検討に際して、2023 年度に同制度への申請を行った高専の関連書類を共有

②取組予定

年度	項目
2023	①高専生に外大の留学経験者が留学に関するアドバイスを行う機会の創出、②外大の学生・留学生在が高専の授業等へ参加することによる語学学習機会の創出、③情報教育に関するノウハウの相互共有を模索。
2024	上記 2023 年度の検討状況と取組結果をふまえて、より効果的な文理横断の取組を検討・実施する。

(3) 学生生活・教育環境の向上

両教育機関の施設・設備を相互利用することで、学生生活・教育環境の向上を図る。施設の一体的な整備運用や保有資産の有効活用に加え、両教育機関の各種管理・調達における契約を一つにするなど、効率的な運営体制を構築する。また、両教育機関が保有するキャリアサポートに関する情報を共有するなど、学生生活への支援を強化する。

①取組状況

No	項目
1	施設・設備の効率的運用 (具体的な施設の相互利用) の実施 (秋頃を目標にする) →6月より外大・高専の施設・設備に関する長期修繕や外部貸出等の運用方針を検討するワーキンググループを立ち上げており、その中で具体的な学生向け相互利用案の検討を開始した。
2	高専と外大のキャリアサポートの取組状況や課題の共有 (5/26) →高専の教職員と外大のキャリアサポート所長の間で認識を共有した。

②取組予定

年度	項目
2023	学生生活の支援強化に向けた高専と外大のキャリアサポートに関する情報の共有
2024	施設の相互利用等について引き続き検討。

(4) 教職員の交流促進

大学・高専共同の教職員研修の実施や、研修プログラムに相互に参加できる仕組みを構築するとともに、大学・高専間での事務職員の人事交流を行う。

人事交流にあたっては、概ね採用 10 年以内に大学と高専の両方を経験させることで、文理横断型の学校経営に必要な知識習得も含めた職員の資質向上を図る。

①取組状況

No	項目
1	高専に固有職員を新たに配置 (4/24) →本年 4 月より、高専に固有職員を 2 名配置した。
2	大学と高専で共同研修を実施 (①5/22~25 のうち 3 日)、②7 月頃、③秋冬頃を目標にする) →①新規採用者及び転入者向けの研修、②消費税 (消費税の基礎知識、インボイス制度) や③広報に関する研修の実施を予定している。

3	大学と高専合同で初任者研修を実施（5/22～25のうち3日） →新規採用者及び転入者向けの研修を外大・高専共同で実施
---	---

②取組予定

年度	項目
2023	法改正や広報など、全職員に必要な研修は法人研修として実施。 その他、情報セキュリティやハラスメント、LGBTQ、SDG s 等に関する研修についても、各研修の実施内容（大学・高専の性質を踏まえた特有の内容か否か）を踏まえて、共同実施を検討。
2024	教職員研修については、2023 年度の実施状況を踏まえて、引き続き、より効果的・効率的な実施方法を検討。 事務職員の人事交流については、適材適所への職員配置・人事異動も考慮して検討。

外大×高専

CROSS CAFÉ

～外大生と高専生の想いを交差させる～

日時:2023年7月5日(水)

時間:16:00～17:00(15:30開場)

場所:三木記念会館

参加費無料!

♪ 外大生と高専生との初の交流イベントです ♪

外大ってどんな
ところかな?
英語に興味あるな～

高専生とこんなことが
してみたいな～

ドリンクやお菓子をご用意しております。カフェで休憩するように
お気軽にご参加下さい!(締め切り6月26日)
参加フォームはこちら↓ 先着40名(外大生20名、高専生20名)



神戸市公立大学法人 連携事業推進担当
078-794-8121 (incorporation@office.kobe-cufs.ac.jp)

外大×高専

CROSS CAFÉ

～外大生と高専生の想いを交差させる～

日時:2023年7月5日(水)

時間:16:00～17:00(15:30開場)

場所:三木記念会館
(神戸市外国語大学)

参加費無料!



♪ 外大生と高専生との初の交流イベントです ♪

外大ってどんな
ところかな?
英語に興味あるな～



高専生とこんなことが
してみたいなあ～

ドリンクやお菓子をご用意しております。カフェで休憩するように
お気軽にご参加下さい!(締め切り6月26日)
参加フォームはこちら↓ 先着40名(外大生20名、高専生20名)



神戸市公立大学法人 連携事業推進担当
078-794-8121 (incorporation@office.kobe-cufs.ac.jp)

★神戸市外国語大学の学生向けチラシ

デジタル社会で活躍 するための国際感覚

外大×高専
SPECIAL
EVENT!!

～今後10年、外大生はどこで活躍すべきか、
どのような場所で求められているのか～

グローバルマーケットを対象とする多くの企業は、人材をグローバルで広く求めるようになっています。採用人事の現場では、日本の学生だけでなく外国の学生を求めるボーダーレス化が進んでいます。このような時代を生き抜くために、外大生は何をすべきなのでしょう？

アメリカの最先端の技術とノウハウを活用した先進的な製品の開発を日本の企業と進めている保坂氏と川崎重工の製品開発のトランスフォーメーションを推進する加賀谷氏から、日本企業を含めて世界が求める人材像をお話いただきます！

日時：2023年6月28日(水) 15:00～16:30

会場：神戸市外国語大学 大ホール

対象：神戸市外大生 及び 神戸高専生

講師：Slalom Build
東京ロケーションリード
保坂 隆太 氏

川崎重工業株式会社
執行役員 加賀谷 博昭 氏
(技術開発本部副本部長
兼システム技術開発センター長)



Slalom社は、企業のビジネストラansフォーメーションに強みをもつコンサルティング企業。アメリカのシアトルに本社をおき、北米やヨーロッパ、アジア各国に40を超える拠点と13,000人超の社員を擁し、世界のトップテクノロジー企業とともに世界各国でビジネスを展開している。

こちらの参加フォーム
から**エントリー**ください！



神戸市外国語大学
神戸市立工業高等専門学校

★神戸市工業高等専門学校[※]の学生向けチラシ

外大×高専
SPECIAL
EVENT!!

デジタル社会で活躍 するための国際感覚

～グローバル社会で『ものづくり』に必要な能力とは？～

テクノロジーが急速に進化するグローバル社会において、一生懸命研究し、精魂込めて開発した技術や制作した製品が評価されるためには、どのような視点が必要になるのか？将来の飛躍に向けて、高専生は何を学ぶべきか？

アメリカの最先端の技術とノウハウを活用した先進的な製品の開発を日本企業と進めている保坂氏と川崎重工の製品開発のトランスフォーメーションを推進する加賀谷氏から、日本企業を含めて世界が求める人材像をお話しいたします！

日時：2023年6月28日（水） 15:00～16:30

会場：神戸市外国語大学 大ホール

対象：神戸市外大生 及び 神戸高専生

講師：Slalom Build

東京ロケーションリード

保坂 隆太 氏

川崎重工業株式会社

執行役員 加賀谷 博昭 氏

（技術開発本部副本部長

兼システム技術開発センター長）



Slalom社は、企業のビジネストラansフォーメーションに強みをもつコンサルティング企業。アメリカのシアトルに本社をおき、北米やヨーロッパ、アジア各国に40を超える拠点と13,000人超の社員を擁し、世界のトップテクノロジー企業とともに世界各国でビジネスを展開している。

こちらの参加フォーム
から**エントリー**ください！



神戸市外国語大学
神戸市立工業高等専門学校